

# 多摩府中保健所感染症週報

令和7年第13週 (3月24日~3月30日)  
令和7年第14週 (3月31日~4月6日) 合併号

今週の傾向 (定点医療機関当たり報告数で表示) 令和7年4月10日時点

- 新型コロナウイルス感染症の報告数は減少しました。  
(多摩府中 12週 2.88→13週 2.30→14週 1.61 東京都 12週 2.31→13週 1.93→14週 1.29)
- インフルエンザの報告数は減少しました  
(多摩府中 12週 3.52→13週 2.61→14週 1.55 東京都 12週 1.94→13週 1.91→14週 1.18)
- 感染性胃腸炎の報告数は減少しました。  
(多摩府中 12週 9.38→13週 8.10→14週 4.57 東京都 12週 10.73→13週 7.87→14週 6.28)
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は横ばいで推移しています。  
(多摩府中 12週 2.52→13週 3.81→14週 3.52 東京都 12週 2.21→13週 2.24→14週 2.42)
- 水痘の報告数は減少しました。多摩府中保健所管内では注意報レベルになっています。  
(多摩府中 12週 0.67→13週 1.76→14週 1.05 東京都 12週 0.49→13週 0.58→14週 0.46)

## 管内の集団感染の状況

施設	疾患	報告件数	
		13週	14週
学校・教育機関	—	—	—
児童福祉施設	インフルエンザ	2件	—
	感染性胃腸炎	1件	2件
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1件	—
高齢者福祉施設	インフルエンザ	—	1件
	感染性胃腸炎	3件	—
	新型コロナウイルス感染症	1件	1件
	不明熱	1件	—
障害者福祉施設	—	—	—
医療機関	感染性胃腸炎	1件	—
	新型コロナウイルス感染症	1件	—

※保健所が相談を受けて把握したものを集計しており、実際の数と相違がある可能性があります

## 百日咳が流行しています

2024年下半期から現在にかけて百日咳の届出数が増加しています。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後6か月未満では死に至る危険の高い疾患です。

成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。

百日咳の予防・対策等は裏面をご覧ください。



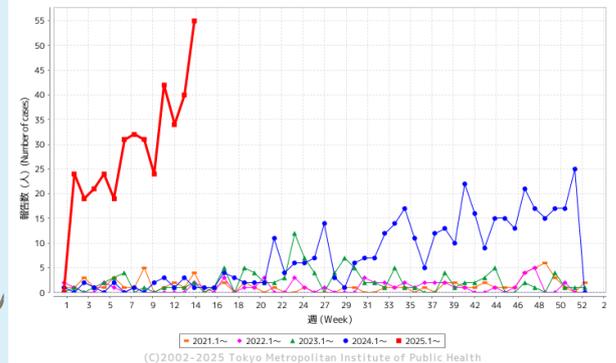
## ★注目すべき感染症★

### 百日咳

# 百日咳に注意しましょう！

#### 百日咳とは

- ・百日咳菌による感染症です。
- ・一年を通じて発生がみられますが、近年、乳幼児期の予防接種の効果が減弱した成人の発病が問題になっています。



(C)2002-2025 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

東京都における百日咳届出数の推移（過去5年）

#### 潜伏期間・症状

- ・ **7～10日程度**の潜伏期間を経て、カタル期→痙咳期→回復期と経過します。  
**カタル期（約2週間）**：風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなっていきます。  
**痙咳期（約2～3週間）**：短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します。  
**回復期（約2～3週間）**：激しい咳は徐々におさまりますが、時折、発作性の咳がみられます。

#### 感染経路

- ・ 患者の咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによって感染（**飛沫感染**）
- ・ 菌に汚染された手で口、鼻、眼などをさわることで感染（**接触感染**）



#### 予防・対策

- ・ 飛沫感染への対策として**咳エチケット**、接触感染への対策として**手洗いの励行**等も大切です。
- ・ 乳幼児期には、**予防接種**があります。忘れずに予防接種を受けましょう。



<参考>

・ 百日咳 pertussis(whooping cough) | 東京都感染症情報センター

<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/pertussis/>

・ 百日咳 | 厚生労働省

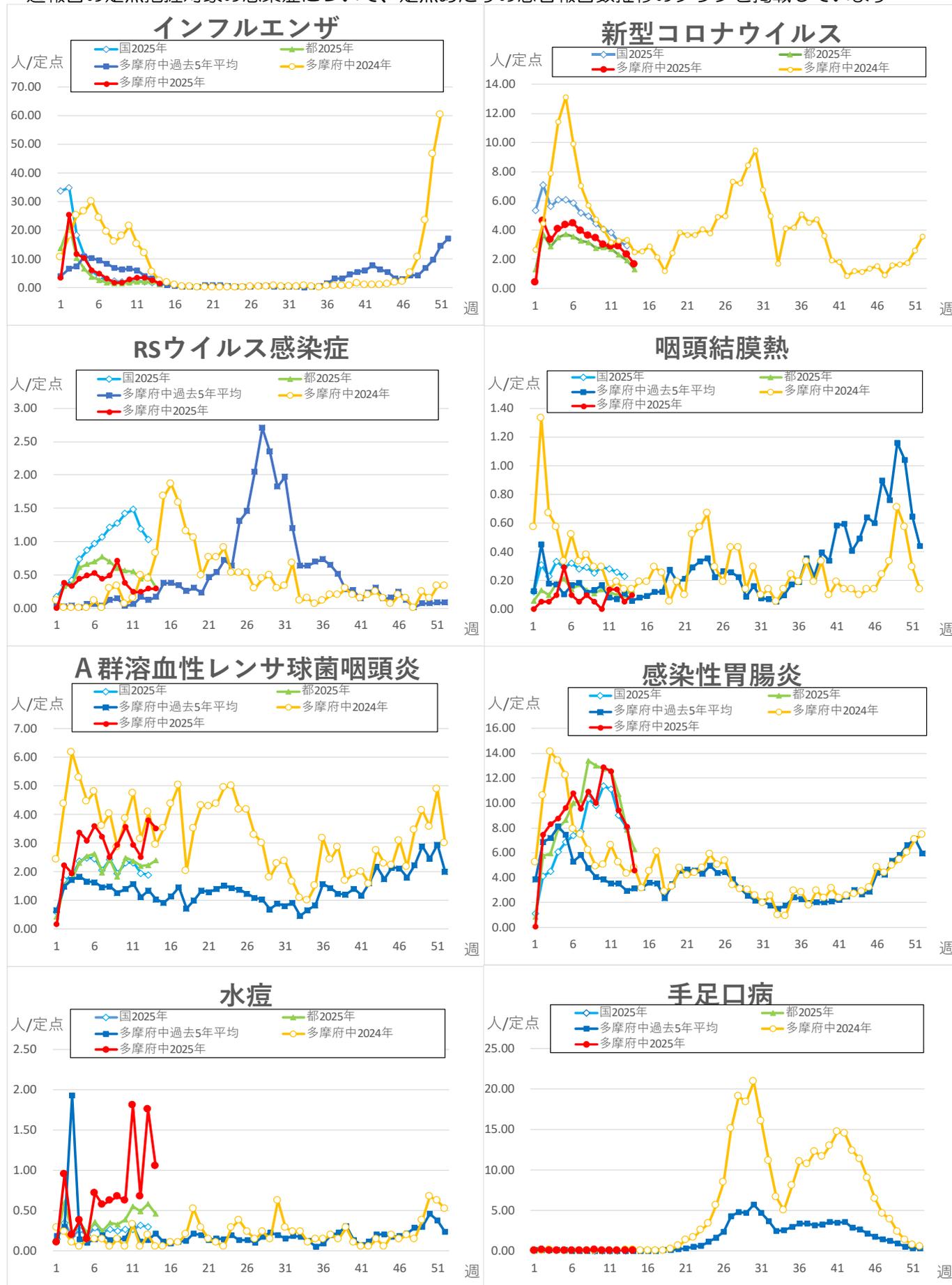
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping\\_cough.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html)

・ 保育所における感染症対策ガイドライン | 厚生労働省

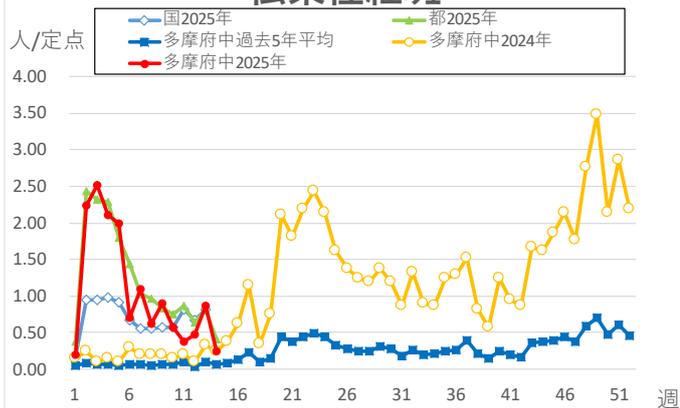
<https://www.mhlw.go.jp/content/001005138.pdf>

## 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

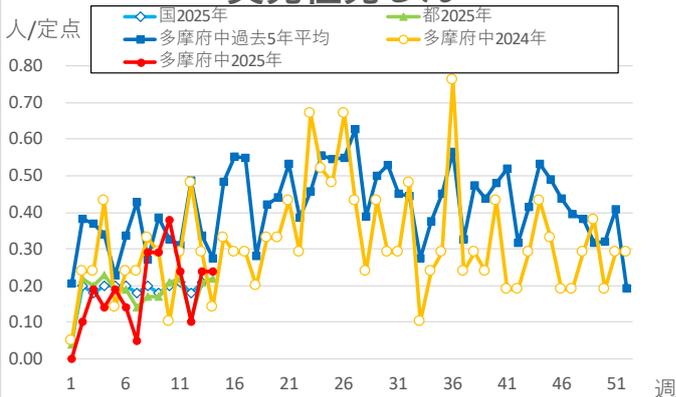
・週報告の定点把握対象の感染症について、定点あたりの患者報告数推移のグラフを掲載しています



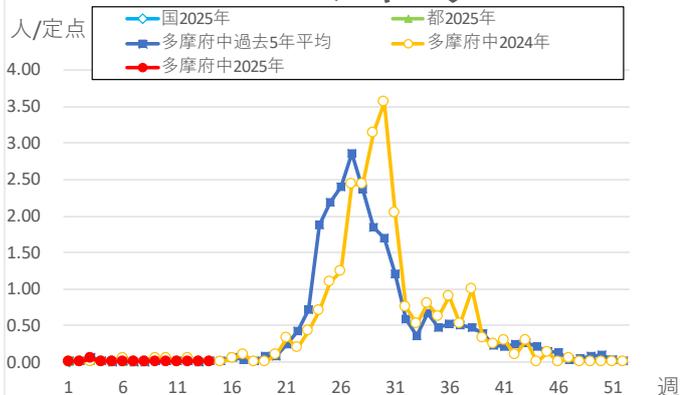
### 伝染性紅斑



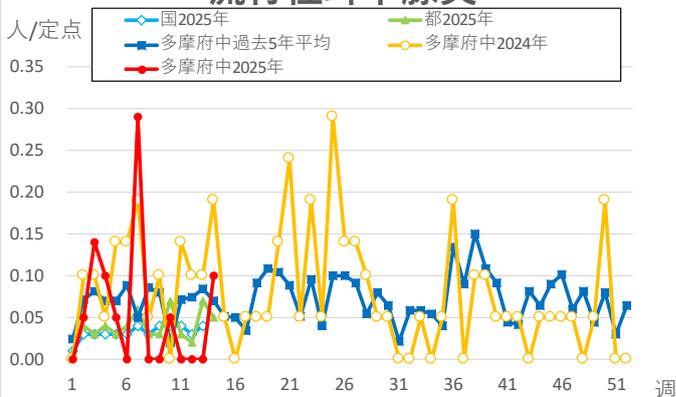
### 突発性発しん



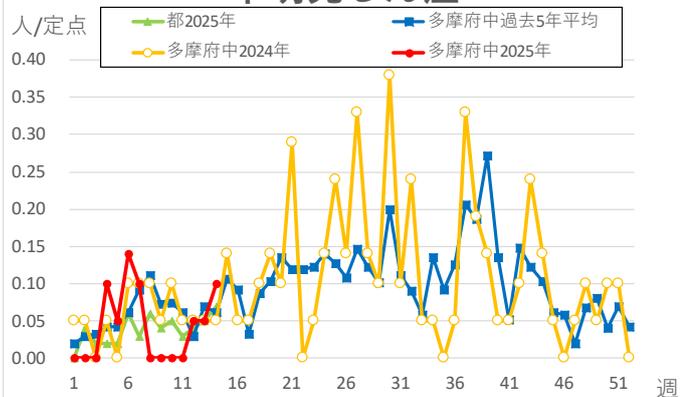
### ヘルパンギーナ



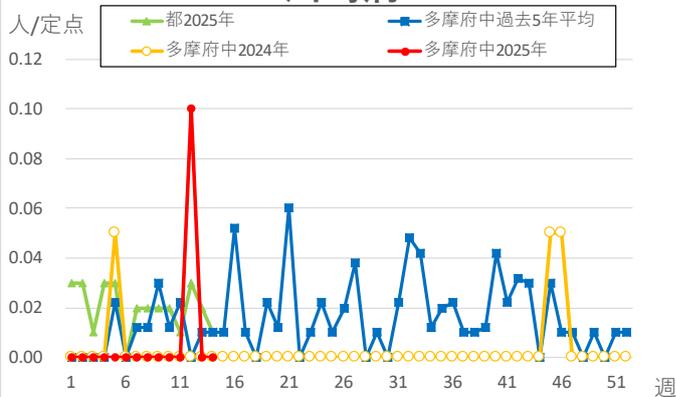
### 流行性耳下腺炎



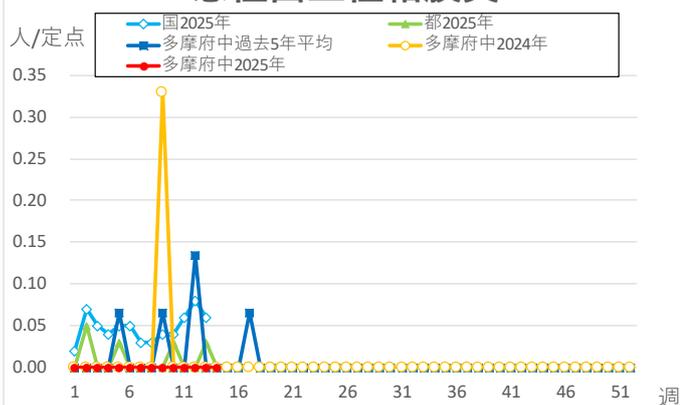
### 不明発しん症



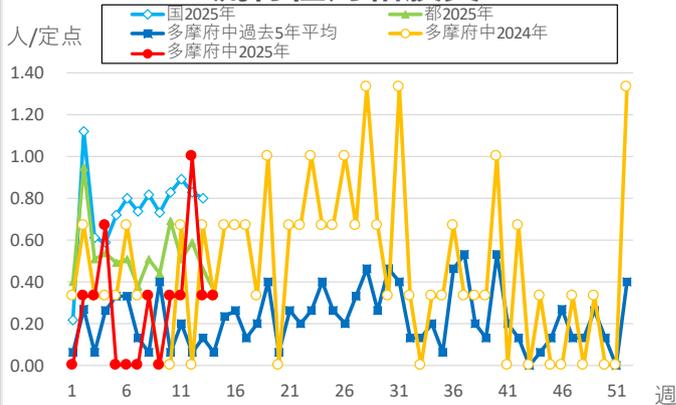
### 川崎病



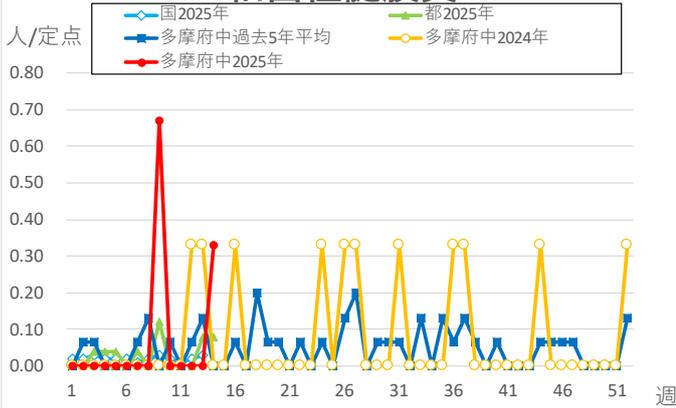
### 急性出血性結膜炎



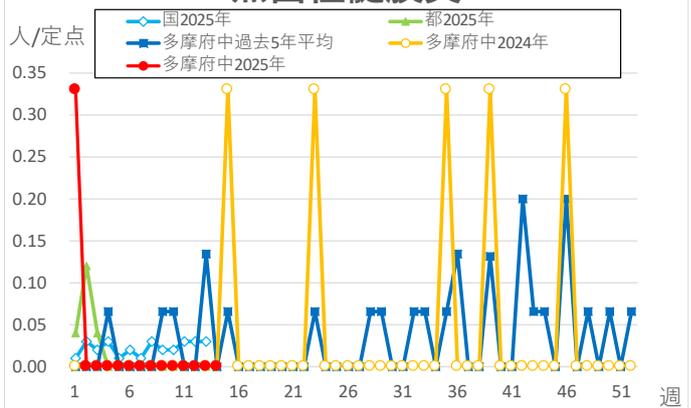
### 流行性角結膜炎



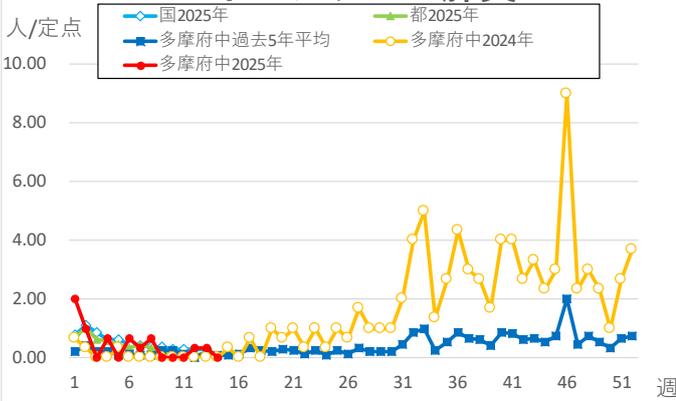
### 細菌性髄膜炎



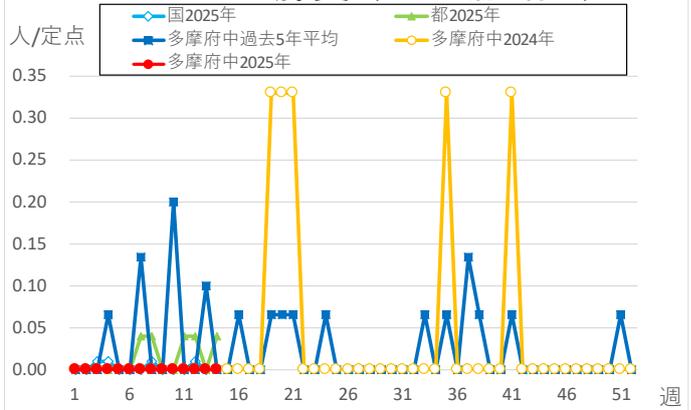
### 無菌性髄膜炎



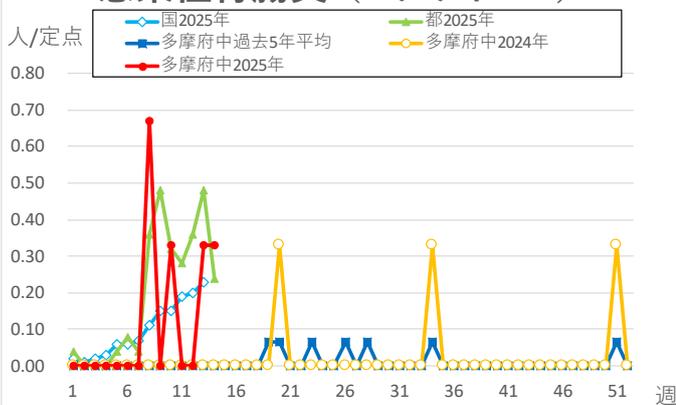
### マイコプラズマ肺炎



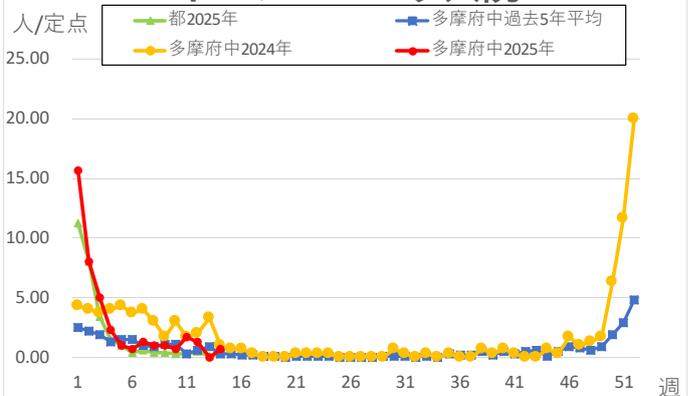
### クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



### 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)



### インフルエンザ入院



### 新型コロナウイルス入院



※本グラフは感染症の発生動向の概要をお伝えするため、下の出典の最新週のデータを追加して作成しています。過去のデータの修正は反映されておりませんので、より正確なデータについては出典元をご覧ください。国のデータは1週間遅れで掲載しております。

<出典>東京都、多摩府中のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>より WEB 感染症発生動向調査

国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

多摩府中保健所 保健対策課  
感染症対策担当  
Tel : 042 (362) 2334 (代表)

検索 多摩府中 感染症週報